

おおいた県 うすき市移住 ガイドブック

山も、海も、石仏も。



臼杵市

はじめまして、うすき白杵市です。

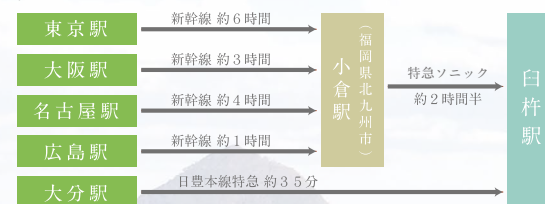
大分県の東南部に位置する白杵市は、
豊後水道に面した白杵湾を望む、
歴史にゆかりの深い城下町。
豊富な水源を持つ河川沿いには
水田や畑地が広がる野津地域。
海、山の、自然のめぐみを
ふんだんに浴びるまち。

瀬戸内型と南海型が混在する気候は、
年間平均15〜17度の温暖な気候です。

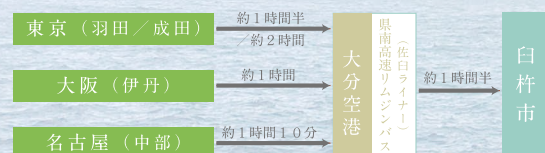


交通案内

JRで移動する



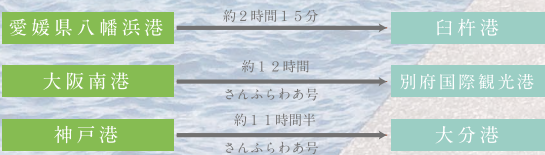
飛行機で移動する



車で移動する



フェリーで移動する



INDEX

- 04 プロローグ
- 06 白杵市中心地ってどんなところ?
- 07 野津ってどんなところ?
- 08 白杵で子育て
- 10 白杵市移住者インタビュー
- 12 知っておきたい、補助金関係
- 14 白杵でなりわいを見つけて豊かに暮らそう
- 15 移住希望者向けモニターツアー
うすきおためし暮らし

春はうす紅色。

霞みがかつた山々の桜ぼんぼり、
城下に舞い散る桜色の花びらに
赤子のちいさき爪を想う。

夏は留紺色。

とまりこんいろ

蝉時雨に祭囃子がせめぎ合う。
夕暮れの切なさが、火照った体の熱気をさらってく。

秋は蜂蜜色。

実り高き豊稔と、果てなくつづく鱗雲。
黄金色に揺れるススキを舞台に
軽やかに響く、虫たちのオーケストラ。

冬は藍白。

透明な青い空に輪郭をまとう
霜そそがれた真っ白な大地。

銀灰色のまち、白杵に

おとずれる、濃淡の四季。

暦のなかで暮らす

ドラマチックな日々たち。

風土を伝えし先人の

100年を超える歴史と知恵を継ぎ、

100年を見据えたなりわいをさがしてゆく。

柔らかくはぐくみながら、

たゆたいながら。





野津あるある_02

「完熟堆肥」は家庭菜園でも多く使われています

農業エリア

野津川の豊富な水流の恩恵を受け、農業が盛んな地域です。また白杵市は「有機の里」をキャッチフレーズに、草木を主原料にした完熟堆肥による土づくりを推奨しながら、有機農業にも力を入れています。有機農家さんの多くは野津で従事しています。



完熟堆肥も白杵産



山が近い

畑の野菜、田んぼの米が美味しいのはもちろん、実はジビエ（鹿肉や猪肉）も絶品。化学肥料や化学合成農薬を使用しない有機農業や自然農、循環農法で育てられた野菜は、野菜本来の濃厚な味が堪能できます。



野津あるある_04

夏は野菜のおすそ分けが、冬はジビエのおすそ分けも！

野津あるある_01

初夏はホタル鑑賞が至るところでできます

けっこうな“田舎”感

野津は農村地帯のため、母屋、納屋、蔵を持つ農村家屋が多い地域。初夏は田んぼに水が張られ、秋は黄金色に輝く稲穂の美しい光景が広がります。自然に囲まれてのんびり暮らしたい人にオススメです。



NOTSU

意外とシティに近い

白杵市中心地よりも田舎感は強いですが、実は大分県の県庁所在地である大分市に近いです。国道10号線と繋がっており、大分市までは車でおよそ30分程度で行くことができます。この国道、平坦な道なので運転も楽チンです。

野津あるある_03

大分市まで通勤している人も多い

野津

ってどんなところ？

白杵市中心地

ってどんなところ？



白杵あるある_02

迷うように造られている町割りのため、酔っ払うと道に迷うことも

城下町

白杵は城下町です。「白杵城跡」は、戦国時代にキリシタン大名であった大友宗麟によって築城されました。現在の白杵の町割りは美濃（岐阜県）から慶長5年（1600年）に入封した稲葉氏によって築かれ、白杵藩5万石の大名として明治までの約270年間統治してきました。その名残は地形としてさらに文化として、白杵の随所に残っています。



白杵あるある_01

城下町は道が狭いので、軽自動車の方が多いです

コンパクトシティ

海、山までが近く、自然が身近な場所にあります。生活必需品を買うにも、スーパーや病院に行くにも、ほどほど近い場所にあります。車の運転はできた方が便利かもしれません。



USUKI

海が近い

豊後水道に面した白杵湾に囲まれた海のまちです。新鮮で旬の魚がスーパーに揃います。毎週土曜日には魚市場で朝市も開催されています。そして何と言っても「白杵ふぐ」としても名高い町です。



白杵あるある_04

白杵に住むとおのずと魚を捌けるようになります（まるっと一匹もらうことが多いので）

ほとほとの“まち”感

移住希望の方が初めて白杵に来て驚くのが、「意外とおまち」だということ。田舎という言葉ほど田舎でもなく、都会でもない感じ。大型ショッピングセンター、総合病院、コンビニ、100均など、必要なものが大体揃う、ちょうどいい町です。

白杵あるある_03

通りすがりの子どもたちが元気に挨拶してくれます

相談しやすい、明るい雰囲気が魅力！ 白杵市子ども・子育て総合支援センター 「ちあぽーと」

妊娠期から18歳までの様々な相談にワンストップで対応し、切れ目ない支援を提供しています。行政手続きができる窓口や相談室、あそびの広場が併設されています。親子のふれあいの場や、子育ての情報交換の場としても活用されています。子育て世帯の移住希望者への対応もこちらで行うことが多いです。



健やかにほぐくむ、食育 & 給食



白杵市は「食育」という言葉が生まれる前から、食で心と体を育む取り組みに力を入れています。保育園では梅干し作りや稲刈りなどの体験学習、小学校では農村・漁村民宿体験を通して食への関心や興味を引き出すプログラムが組まれています。学校給食は「給食畑の野菜」が使用されています。「給食畑の野菜」とは、学校給食で使用する野菜などを地元の生産者が生産供給する取り組みのこと。地元で採れた新鮮で安全な野菜を学校給食で使用することで、子どもたちの健全な育成を目指しています。



歴史は古いが、遊具は最新！ 白杵の公園



リーフ デ わんぱーく

総合公園の中にある子どもが遊べる公園で、イカやタコをモチーフにしたカラフルな遊具が揃います。ピクニックができるほどの芝生広場、広大な傾斜では草スキーができ、子どもたちの人気スポットとなり、特に全長36mのローラー滑り台は圧巻です。

きっちよむ 吉四六ランド

吉四六ランドは白杵市野津町を代表するお花見スポット。子どもが遊べる公園は、2015年に遊具がリニューアル。遊具の上には、巨大吉四六さんのシンボルがそびえ立っています。子どものみならず、大人もアスレチックができる健康遊具も4種類そろっていますよ。



市浜川添公園

2017年にリニューアルしました。冒険心をくすぐる複合遊具、小さな子どもも楽しめるスウィング遊具、幼児向けのブランコも新しく設置されました。小さなお子さんとのんびりお散歩がてら足を運ぶのにオススメです。

歴史的建造物で読書 しょうだ へいごろう 荘田平五郎記念こども図書館

子どもの年齢に応じた絵本が揃う、木造二階建ての図書館です。和室や学習室もあり、毎月赤ちゃんのための読み聞かせ講座や大人のための絵本講座を行っています。野津分館もあります。

SUKUSUKU! NOBINOBI!

白杵で子育て



豊かな自然に囲まれた 認可保育所・認定こども園

現在、白杵市には認可保育園が9園、認定こども園が2園あります。どの園も特色があり、地域や環境によって選びやすいのも特徴的です。一時保育制度もあるので、空き家バンク巡りや白杵移住に向けての準備をする場合にもご利用いただけます。



保育料について

- 第一子…保育料軽減
- 第二子…半額
- 第三子…3歳まで無料
その後は半額

病児・病後保育

- 0歳から小学校6年生までの白杵市にお住まいのおさんが、病気のために集団生活が困難な場合、保護者にかわり保育・看護を行います。
 - 一日利用料…1,500円(※2日目以降1,000円)
 - 半日利用料…1,000円
 - 延長保育料…200円
 - きょうだい児2人目以降…1,000円
- ※ 給食費・おやつ代込の金額です。

感動体験も充実！ 小学校

現在13校あります。児童数は約20名～約400名と地域によって規模も変わります。どの地域に住むかによって子育て環境も変わってきますので、事前に確認しておくとうれしいでしょう。

体験活動も盛んです。小学校5年になると農村・漁村民宿体験を行います。市内の農家さんや漁師さんの家に宿泊し、普段はなかなか体験することのできない「暮らしの時間」を共有します。人の温かさに触れることができ、子どもたちの記憶に深く刻まれる経験になるようです。



自分たちの農業にあった土を求めて。 自然に寄り添った生活を根ざす

もともと栃木県で自然農に従事していた高松さんご夫妻。栃木では土が良く、自分たちに合った農業のスタイルを確立されていたのですが、2011年の東日本大震災を機に、移住を決意しました。そして、満足のいく農業ができる土地を探すうちに白杵市野津町に出会いました。



そよふく農園
高松 賢さん・美恵さん

〈職業〉農業(自然農) 〈出身地〉埼玉県
〈移住日〉2016年3月 〈移住元〉岡山県
〈家族構成〉娘1人、息子1人の4人家族



▲ファーマーズマーケットなど様々なイベントにも出店している

現在育てている野菜は約50品目。お米や古代米などは自給分とプラスαとして収穫しており、白杵市内で毎月第一日曜に開催されるファーマーズマーケットでは、野菜のほかお米や豆、稀に平飼いの鶏の卵が登場することもあります。

「自然農と自給自足は切り離せないと思います」と高松さん。農業を軸としながら、農家民泊の受け入れに関わるなど、地域や団体との交流も盛んに行いながら、無駄のないシンプルなお生活を送っています。

ゆるく、そしてしなやかに Uターンして継いだ呉服店

河野さんは白杵市生まれ。東京で28年間暮らし、2016年12月にUターンしました。



河野よし子さん

〈出身地〉大分県白杵市
〈移住日〉2016年12月
〈移住元〉東京都
〈家族構成〉父・母と3人暮らし



▲呉服店としてはもちろん、イベントやマルシェなど、お店で開催することもしばしば

実家は風情ある城下町のシンボリック存在「八町大路」に店を構える「志賀屋呉服店」。江戸末期創業の着物屋さんご実家です。

「両親が高齢になったこと、そして自分の今後の将来を見据えて白杵に戻る決心をし、現在は7代目として後を継いでいます。」
「白杵市に帰ってきた時の印象は、思いのほか移住者が多かったということ。同じ思いを共有できたり、何かと心強いです」。移住者が立ち上げたイベントや、地域のお祭りなどにも積極的に関わっています。

「収入は減りましたが、その分出ていくお金も少ない。食べ物は美味しいし、生活はゆったりしています」と、物質的な豊かさを超えて、生活の豊かさを肌で感じている河野さん。変わらない笑顔を見せながら、今も店先に立ちます。

白杵市に移住し この地で暮らす

有機農業と翻訳業に勤しみながら、 理想のライフスタイルを確立



HEIMOさん・賀来さんファミリー

〈出身地〉夫:GRATZL HEIMO(グラッツル ハイモ)さん
オーストリア出身 妻:素子さん/千葉県出身
〈移住日〉2017年11月 〈移住元〉福岡県
〈家族構成〉息子1人の3人家族



▲ファーマーズマーケットにて、節分の豆まきで鬼を見て泣きそうな彪(ひゅう)くん

移住者のインスタグラムを見つけ、白杵のことを初めて知ったといいます。かねてから自然に囲まれた場所が安心安全な農業をしたいと願っていたご主人のハイモさんにとって、行政が有機農業を推進していることは、移住を考える大きなきっかけとなりました。

「家は、ご縁」というのは本当にその通りでした」と奥様の素子さんが言うように、理想の家に合うまでは時間がかりましたが、ハイモさんと素子さんのあきらめない気持ちで、理想の平屋へと繋がりました。

現在、ハイモさんは有機農業に従事しながら、自宅近くの農地を借り野菜を育て、素子さんは翻訳の仕事に勤しみ、2歳の育ち盛りの息子さんは保育園へ登園する毎日。家族3人、自然に囲まれた場所で穏やかな暮らしを営んでいます。

東京から移住した若者が見つけた、 商店街という居場所



わき ひゅうが
和氣 日向さん

〈職業〉ゲストハウス・マネージャー
〈移住日〉2017年3月
〈移住元〉東京都



▲ゲストハウス「白杵家」。海外からのお客様も多いそう

個性的なファッションで商店街を闊歩する和氣さん。彼女のご家族は東京でカフェを営む傍ら、白杵で系列のカフェとゲストハウスを運営しています。そのゲストハウスを切り盛りするために移住してきました。移住当初は、白杵から逃げたいと思っていたという和氣さん。

「最初はちょっとつまらないと思ってました(笑)。慣れない仕事のストレスもあって本気で家出も考えたけど、真剣に叱ってくれる父と向き合っていくうちに、ゲストハウスの経営者としての自覚を持てるようになりました。」

「初めてみなさんときちんとお話ができたんです。そして自分の居場所がだんだんできてきました」。30も歳の離れた商店街の方々と今後の白杵について意見交換する日々を過ごしている彼女。今後はニューヨークにゲストハウスを開業して、東京・白杵・NYの3つを拠点に発信していきたいという夢を抱いています。

移住者居住支援

平成31年度補正事業の内容です。

補助金名	事業内容	補助額	補助率	条件
Uターン支援 移住支援補助金	仲介手数料の補助	5万円以内	10/10	●転入前5年以上、市外に居住していた方 ●今後、5年以上、定住を誓約できる方
	引越費用の補助	20万円以内(県内10万円以内)	2/3	
	移住奨励金	5万円	—	
定住促進住宅取得補助金	新築補助・購入(新築・中古)補助	100万円以内	1/10	
Uターン支援 若年・子育て世帯 家賃補助金	若年夫婦(40歳以下)への補助	月15,000円以内(最長24月)	家賃の1/2	●転入前1年以上、市外に居住していた方 ●今後、5年以上、定住を誓約できる方 ●空き家バンク物件も利用可能
	子育て(中学生以下)世帯への補助	月15,000円以内(最長36月)		
	若年単身者(40歳以下)への補助	月10,000円以内(最長24月)		
Uターン支援住宅改修補助金	実家等の改修費補助	50万円以内	1/2	●転入前、5年以上、市外に居住していた方 ●実家等が空き家となっている場合の改修費補助

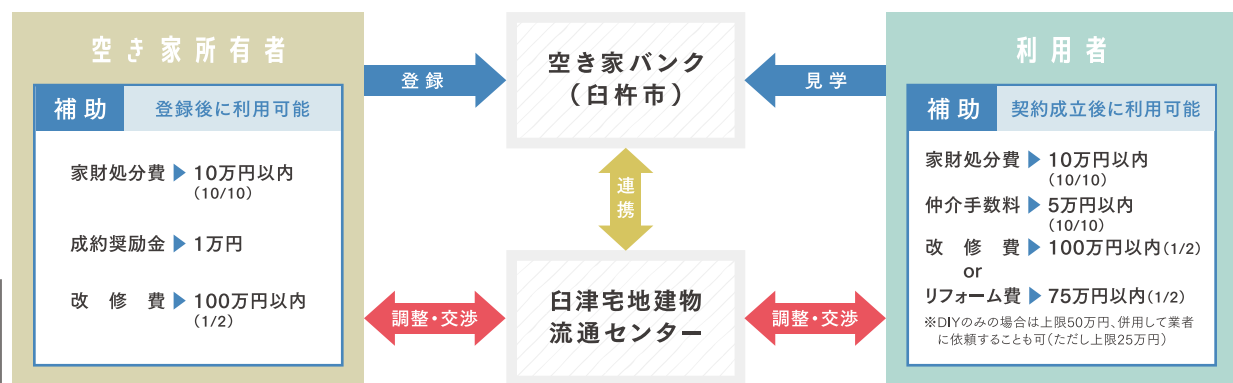
定住促進

補助金名	事業内容	補助額	補助率	条件
新婚生活応援補助金	仲介手数料の補助	5万円以内	10/10	①今後、5年以上、定住を誓約できる世帯 ②移住者居住支援事業等の対象とならない世帯 ③以前に同様の補助を利用した者がいない世帯 ④婚姻日から1年以内に補助申請をした世帯
	引越費用の補助(※実家等での同居であっても利用可)		2/3	
新婚世帯家賃補助金	新婚世帯(夫婦のみ)への家賃補助	月10,000円以内(最長24月)	家賃の1/2	
	子育て(中学生以下)新婚世帯への家賃補助	月10,000円以内(最長36月)		
新婚世帯住宅取得補助金	新築、建売・中古住宅購入費用の補助	50万円以内	1/10	※上記、①～③については同様 ④婚姻日から3年以内に補助申請をした世帯

新婚生活応援補助金とあわせ、住宅の状況に応じ、新婚世帯家賃補助金又は新婚世帯住宅取得補助金の併用が可能です。

補助金名	事業内容	補助額	補助率	条件
定住促進住宅補助金	新築補助	100万円以内	1/5	●中学生以下の子どもがいる子育て世帯と、その親世帯が同居を予定している場合 ●子世帯または親世帯のどちらかが、市内に1年以上居住していること
	購入(新築・中古)補助			
	住宅改修補助			
若年・子育て世帯定住促進住宅取得補助金	若年夫婦(40歳以下)及び子育て(中学生以下)世帯への新築及び購入(新築・中古)補助	20万円以内 市外通勤者加算:10万円 地元業者利用加算:10万円 (合計 最大40万円)	1/10	●5年以内に取り壊しや売却によって転居しないこと

空き家バンク制度



※家財処分費、改修費の補助は所有者、利用者いずれか一方が利用可能です。

知っておきたい、補助金関係

移住にはお金がかかります。引っ越し費用はもちろん、家を借りるのか？ 買うのか？ 一人ひとりの環境によって変わってきます。移住パターンをケースごとに紹介します。

case.2

20代男性／若年単身者
〈移住元〉東京都
〈住まい〉賃貸アパート

■移住の際に受け取った補助金

移住奨励金	50,000円
引っ越し費用	200,000円
仲介手数料	48,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	128,600円

■家賃補助

家賃補助金(若年単身者)	10,000円
勤務先家賃手当	18,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	17,000円

case.3

シルバー世代夫婦／60代
〈移住元〉大阪府
〈住まい〉中古住宅購入

■移住の際に受け取った補助金

移住奨励金	50,000円
引っ越し費用	200,000円
仲介手数料	50,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	322,000円

■住宅取得補助

購入	750,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	6,750,000円

case.1

子育てファミリー
30代夫婦、子ども(7歳、4歳、1歳)
〈移住元〉徳島県 〈住まい〉貸家

■移住の際に受け取った補助金

移住奨励金	50,000円
引っ越し費用	187,000円
仲介手数料	50,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	47,800円

■家賃補助

家賃補助金(子育て世帯)	15,000円
勤務先家賃手当	20,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	15,000円

case.4

Uターンのシニア世代夫婦／50代
〈移住元〉神奈川県
〈住まい〉空き家になっていた実家

■移住の際に受け取った補助金

移住奨励金	50,000円
引っ越し費用	200,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	182,000円

■Uターン支援補助

空き家改修	500,000円
補助金を受け取った場合の手出し(実費)	796,000円

※ここに挙げた費用は目安です。引っ越し費用や仲介手数料、住宅取得費用、空き家改修費用など、それぞれの状況に応じて異なります。補助率もそれぞれ異なりますので、左の表をご確認の上、お問い合わせください。

移住希望者向け
モニターツアー

うすき

おためし暮らし

年に数回、モニターツアーを
開催しております。
まずはこのツアーで
移住体験してみませんか？

心が豊かになる生活をしながら、普段着で暮らしたい人へ。

Point

1

初めてなのに、
どこか懐かしい

2泊3日の滞在中、宿泊は基本的に農村民泊。(1泊2日の場合は変更の可能性があります)。おばあちゃん家に帰ってきたようなふさふさの温かさを実感できます。

Point

2

オーダーメイド
で対応

事前アンケートでしっかりと要望をお伺いして、当日のスケジュールを組み立てます。可能な範囲で個別に対応も考えておりますので、まずはご相談ください。

Point

3

先輩移住者に
聞ける、本音

移住者と交流する時間を設けます。お宅を訪問したり、交流会に来て一緒に飲んだり…。生の声を聞くことで実際に移住をより身近に感じていただけます。

Point

4

白杵ではすべて
無料です
(おやつは出ませんが)

大分入りしてからは実質0円。大分空港やJR大分駅まで、白杵市職員がお迎えにあげます。宿泊から移動に至るまで、すべて白杵市でご用意いたします。

なにはともあれ、まずは“白杵時間、体感”してみませんか？

移住モニターツアー「おためし暮らし」のお申込み＆お問い合わせ

うすきツーリズム活性化協議会 事務局
TEL.0974-32-7181
Mail info@usuki-jikan.com

移住に関する
総合窓口

白杵市役所 秘書・総合政策課 協働まちづくりグループ
TEL.0972-63-1111
http://www.city.usuki.oita.jp/ http://usuki-job.com/

白杵でなりわいを見つけよう
豊かに暮らそう

白杵市で暮らすことは、お金には変えがたい“豊かさ”があるということ…。

かといって、仕事をしてお金を生み出さなければ生活はできません。

起業したり、就農したり、なりわいを見つける時に役立つ支援制度や、知っておくと便利なサイトをご紹介します。

創業支援_01

白杵市創業支援事業

市内で新たに創業する人に対し、創業時に必要な初期費用の一部を助成します。

※事業所賃貸料、事業所開設費、販売促進費など創業に関わるものが明白である経費(2分の1・上限100万円)

【お問い合わせ】白杵市役所 産業促進課 TEL.0972-63-1111(内線1261) ※移住1年以内の移住者は「移住者店舗等開設支援補助金」も利用できます
白杵市役所 秘書・総合政策課 TEL.0972-63-1111

創業支援_02

白杵市空き店舗等活用促進事業

空き店舗を活用して事業を行う人に対し、その費用の一部を助成します。(対象区域あり)

※空き店舗において行う事業に必要な外装費、内装費、広報費(2分の1・上限50万円) ※商店街への出店は上限75万円)、1年間の賃借料費(2分の1・上限30万円)

【お問い合わせ】白杵市役所 産業促進課 TEL.0972-63-1111(内線1261) ※移住1年以内の移住者は「移住者店舗等開設支援補助金」も利用できます
白杵市役所 秘書・総合政策課 TEL.0972-63-1111

創業支援_03 就農研修制度

白杵市の就農研修制度

(農業次世代人材投資資金《準備型》の対象)

①アグリ起業学校(ピーマン)

市が設置した研修専用の施設で1年間の研修を行います。

②ファーマーズスクール

市が認定した就農コーチ(農家)のもとで1~2年間の研修を行います。

【お問い合わせ】白杵市役所 農林振興課 TEL.0974-32-2220(代表)



■品目/有機農産物・ピーマン
■カリキュラム/栽培技術を学ぶ実習、経営等知識を学ぶ座学、農業経営全般を学ぶ模擬営農(圃場の一部を自ら管理し、技術・知識を高める)など

創業支援_04 漁業

白杵市漁業担い手育成交付金

新たに漁業を始める方が円滑に漁業に従事できるように、就業初期段階における資金の給付を行います。

①定住支援事業

漁業従事を目的に転入し、アパートなどの民間賃貸住宅を借りる者に対し、家賃の一部を交付するもの(1月当たり、家賃の2分の1又は2万円のうちのいずれか低い額。最長36月)。

②就業奨励金

漁協の正組合員の資格を取得し、漁協青年部白杵支部に所属する者に対し奨励金を交付するもの(1人一回限り30万円)。

③定着支援事業

漁業経営を開始するに当たり、定着促進を図るため、生活安定資金の交付の必要が認められるもの(月額10万円)。

【お問い合わせ】白杵市役所 産業促進課 白杵ブランド推進室 TEL.0972-63-1111(内線1263)



移住体験滞在施設
「おためしハウス」を賢く活用!

木造平屋建ての純和風の民家で、オール電化、Wi-Fi完備、駐車場付き。最短1日~最長1週間滞在しながら、ゆっくりと白杵を満喫できます。
※中長期用の「野津ハウス」もあります。



「うすき暮らしナビ」で仕事を探す
白杵市周辺の最新の求人情報を確認することができます。

うすき暮らしナビ
http://usuki-job.com/



臼杵市役所 秘書・総合政策課

TEL : 0972-63-1111 | FAX : 0972-63-7713

Mail : kyoudou@city.usuki.lg.jp | HP : <http://www.city.usuki.oita.jp/>

2019年4月発行